

AEDはフクダ電子

AED (自動体外式除細動器)

ハートスタートHS1+e
HEARTSTART HS1+e

医療機器承認番号:21700BZY00426000

JRC蘇生ガイドライン2020対応



AEDで、ひとりでも

様々な場所で起こり得る 突然の心停止。

突然の心停止は様々な国で主要な死亡原因の一つとなっています。日本において突然の心停止発生者数は年間7万人以上とも言われており、多くの大切な命が失われています。突然の心停止の主な原因は、心室細動 (Vf) と呼ばれる心臓が痙攣したような状態になることです。このような状態に陥ると、早急に処置を行わなければ数分以内に死に至ります。その心室細動に対する最も有効な治療方法は除細動。つまり除細動器による電気ショックです。突然の心停止が発生してから5分以内に除細動 (電気ショック) を行うことにより救命率を大幅に向上させることができます。



AED (自動体外式除細動器)
ハートスタートHS1+e
HEARTSTART HS1+e

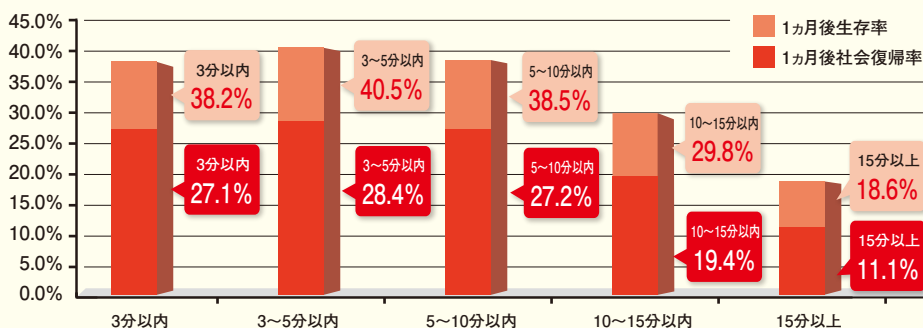
選べるオプション 保証2年延長※

※AED本体の保証期間は通常、ご購入から5年間です。AEDご購入と同時にオプションの保証期間延長サービス(AED2YL)にご加入いただいた場合は、AED本体保証期間を2年間延長し、7年間の保証期間となります。

多くの命を救えたら。

心肺蘇生は早期実施が有効

目撃のあった時刻から救急隊員が心肺蘇生を開始した
時間区分別の1ヶ月後生存率及び社会復帰率(10ヵ年累計)



消防庁 令和元年版 救急・救助の現況
一般市民が心原性心臓機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTの傷病者(10ヵ年累計)

2004年7月1日より医師や救急救命士だけでなく、現場に居合わせた一般市民もAED(自動体外式除細動器)の使用が出来るようになりました。これにより学校や公共施設、一般企業などに多くのAEDの普及が進み、救命事例も数多く報道されるようになりました。

ついには救命率(1ヶ月後生存率)が5%以下であったものが約4倍に向上し、その効果が実証されたと同時に、より一層の救命率向上が期待されています。また、胸骨圧迫の重要性が2005年より、世界的ガイドラインに記述されており、発見者による胸骨圧迫とAEDの組合せが重要視されています。フィリップスのハートスタートHS1+eは、その操作と心肺蘇生法コーチング機能による胸骨圧迫と人工呼吸、小児への対応など処置をサポートいたします。

胸骨圧迫は約5cmの深さで行ってください。
(6cmを超える過度な圧迫はしないでください)
JRCガイドライン2020の推奨



耳マーク

ハートスタートAEDは耳の不自由な方でもご使用いただけます。

(一社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会より「耳マーク」の複製・利用について承諾を得たAEDです。

ディスプレイへの文字・画面表示(FR3)、またはアイコンの光の点滅および本体に付属されているクイックリファレンスガイド(HS1+e、FRx+e)が使用手順をガイドします。

多くの命を救えたら

操作する人の目線から開発されたAED!

突然の心停止から命を守る、ハートスタートHS1+e。

ハートスタート HS1+eの5大特長

1

クイックショック機能

胸骨圧迫の中断時間は最小が望ましいとされています。(AHAガイドライン2010) フィリップス AEDは8秒以内にショック実行可能です!!

2

使用者の操作スピードに合わせた音声ガイダンス

初めて使用する方を想定し、1つ1つの手順を丁寧にアナウンス。使用者の目線に立ったAEDです。

3

軽量・コンパクト

ハートスタートHS1+eはバッテリーを含めてわずか1.5kg。緊急時、現場への持ち運びが容易です。

4

パッドカートリッジ式

本体と一体型の為、余計なコードが外に出ない。

5

心肺蘇生法 コーチング搭載

iボタンで胸骨圧迫のリズム・人工呼吸のタイミングをアナウンス。救命率向上をサポートします!

AR動画でHS1+eの使い方を確認

スマートフォンにて「COCOAR2」アプリをインストールしてください。アプリを起動した後、画面を右下の画像「HS1シリーズの使い方」にかざすと動画が始まります。



●スマートフォンの画面中央に画像全体を取ってください。●オフラインでは利用できません。●コンテンツとのリンクは、事前の予告なく変更・削除する場合がございます。

ハートスタートHS1+e 製品仕様

除細動	
製品名称	ハートスタートHS1+e
型式	M5066Ae
製品構成	HS1+本体、ユーザーズガイド、バッテリー、キャリングケース 成人用パッド・カートリッジ、クイック・リファレンス・ガイド
波形	二相性切頭指数型波形。 波形パラメータは傷病者胸郭インピーダンスに応じて自動的に調整。
エネルギー	定格150J
※1 クイック・ショック	胸骨圧迫と人工呼吸のための時間終了後、 8秒以内(代表値)にショック実行可能
音声メッセージ	ユーザーに使用方法を詳しくガイドする音声メッセージ
胸骨圧迫と人工呼吸の音声ガイド	胸骨圧迫の深さや回数、リズムと人工呼吸の回数、 タイミングを音声でガイド
通電	除細動パッドによる通電。 パッド記載の絵に従って除細動パッドを装着。
コントロール	パッド・カートリッジ・ハンドル、電源ON/OFFボタン、トボタン、 ショック・ボタン
インジケータ	使用準備完了ランプ、トボタン、注意ランプ

寸法/質量	
寸法	7.2×21×19 cm(高さ×幅×奥行き)
質量	バッテリーおよびパッド・カートリッジ装着時:1.5 kg

環境/物理的要件	
固形物体/液体の侵入に対する保護	固形物体:EN60529 class IP2X 液体:EN60529 class IPX1
温度	動作時:0~50°C スタンバイモード:10~43°C
湿度	動作時:相対湿度0~95%(結露なし) スタンバイモード:相対湿度10~75%(結露なし)
高度	動作時:0~4572 m 保管時:0~2591m、48時間未満であれば0~4572m
耐衝撃性	1mの高さから落下させた場合の縁、角、面への衝撃
耐振動性	動作時:EN1789準拠
EMI(エミッション)/イミュニティ	EN55011 Group 1 Level B Class Bおよび EN61000-4-3準拠

解析システム	
傷病者解析	傷病者の心電図を評価してショックが必要な調律かどうかを判定。 ショック適応調律は、心室細動(Vf)および一部の心室性頻拍(VT)。 安全のために、振幅や周波数が低すぎる調律はショック適応な調律と判断されない場合がある。
感度/特異性	成人の除細動に関するAAMI DF80のガイドラインおよびAHAの推奨に準拠(Circulation 1997;95:1677-1682)。
アーチファクト検出	ペースメーカーや電氣的ノイズによるアーチファクトの影響はアーチファクト検出により最小限に抑えられる。

バッテリー(M5070A)	
タイプ	9VDC、4.2Ah、ディスポーザブル、長寿命、 リチウム二酸化マンガン電池、一次電池
容量	200回のショックまたは4時間の動作
使用開始期限	貼付された期日までに使用を開始
スタンバイ期限	代表値4年間(バッテリー装着テスト1回実施後、ハートスタートHS1+e を使用せず、推奨保管温度で保管した場合)

SMARTパッド		
SMART	M5071A除細動パッド	M5072A除細動パッド (対象:未就学児)
パッドカートリッジ		
製品構成	ディスポーザブル・カートリッジ (除細動パッド内蔵)	ディスポーザブル・カートリッジ (除細動パッド内蔵)
有効表面積	各85 cm ²	各85 cm ²
ケーブル長	137.1 cm	101.6 cm
使用期限	カートリッジに記載	カートリッジに記載

自動/バッテリー装着セルフテスト	
毎日の自動セルフテスト	内部回路、波形出力システム、 パッド・カートリッジ、バッテリー容量テスト
パッドテスト	パッドの使用準備状態をテスト(粘着ジェル水分量)
バッテリー装着テスト	バッテリー装着時に、自動セルフテストおよびユーザー対話型テストで機器状態をチェック
ステータス・インジケータ	点滅する緑の使用準備完了ランプはHS1+eが使用可能な状態を示す。ピープ音が出力された場合は保守が必要なことを示す。

データ記録、データ転送(オプション)	
赤外線通信	IrDAプロトコルを使用してイベント・データをPCへ無線転送
データ記録	15分間の心電図および症例全体のイベントと解析結果

・製品の使用方法の詳細については、ハートスタートHS1+e取扱説明書をご覧ください。すべての仕様は他に記載のない限り、25°Cの温度環境下における値です。ハートスタートHS1+eおよびアクセサリにはラテックスを含む材料を使用していません。

ハートスタートHS1+eの性能を最大限に生かす各種サプライ/アクセサリ

キャリングケース	定期交換品・消耗品		
 YC ウォータープルーフケース 寸法:34cm(幅)×30cm(高さ)×15cm(奥行き)	 M5070A ロングライフバッテリー 容量:200回のショックまたは4時間の動作 スタンバイ期限:代表値4年	 M5071A 成人用パッドカートリッジ 医療機器届出番号 13B1X00221000048 使用期限:カートリッジに記載	 M5072A 小児用パッドカートリッジ 医療機器届出番号 13B1X00221000049 対象:未就学児 使用期限:カートリッジに記載

小児等への適用

●未就学児の小児に対して成人用の除細動エネルギーを印加することについては、小児用にエネルギーを減衰できる機構を持った自動体外式除細動器が近くにないなど、やむをえない場合に限り使用すること。 ●小児に使用する場合には2枚の除細動パッドが触れ合うことのないよう注意すること。 ●JRC(日本版)ガイドライン2010では、未就学児(およそ6歳)以下の小児への使用を推奨しています。

